

とうかい Kyo-Do 協働 通信

「マッチング」「コーディネート(つなぎ役)」について考えました！

第4回とうかいKyo-Do(協働)キックオフミーティングを2025年6月15日(日)に開催し、NPO・市民活動団体、コミュニティ、高校・大学、企業等の関係者の計25人に参加していただきました。

今回は、これまで以上にテーマを具体的に絞り、協働に関わる団体や個人の「つながり」や「マッチングの仕組み」について、「こんなことできたらいいな」、「こんなものがあつたらいいな」というアイデアをたくさんいただきました！



「顔見知りになる機会」や「人と人をつなぐ役割」が大切！

現在、東海市では、これからの協働を進めるために「多様な主体による協働のあり方」を検討しています。今回は、テーマ(案)の1つである「団体間のマッチング・コーディネート機能の充実」という項目について、参加者からご意見やアイデアをいただきました。以下、当日に話し合われた内容の一部をご紹介します。

取組項目(抜粋)	意見やアイデア
団体間交流・マッチング機会の充実	・200人くらい大規模のマッチング会があると良い。顔見知りが増え、お互いの活動を見学することで、学び合いにつながる ・交流会を気軽に開催できる仕組み(主体はどこでもOK) ・各団体の活動を知ることができる媒体があるといい 等
市民協働コーディネート機能の充実	・市民活動センターがハブの役割になる ・つなぎ役が、得意、不得意、活動目的を把握することが大事 ・コーディネーター同士の情報共有 等
大学・企業等との連携・協力	・「これが提供できます(場所・モノ)」掲示板があると良い ・大学、企業と出会える場が必要。つながり方がわからない 等
個人と団体を結ぶマッチング	・まちづくりやボランティアのハードルを低くし、とにかく顔を合わせることが大事。 ・手伝いたい、力を出したい人は沢山いる 等

ミーティング終了後には、顔見知りとなった参加者同士が、お互いの活動情報を交換するなど、新たなつながりが多く生まれました。第5回は8月3日(日)午前10時から東海市立市民活動センターで開催予定です。ご参加のほど、お待ちしております！

本取組に関するご質問等は下記までお問い合わせ下さい

連絡先：東海市市民協働課

電話：052-613-7525

0562-38-6136

Email：chiiki@city.tokai.lg.jp

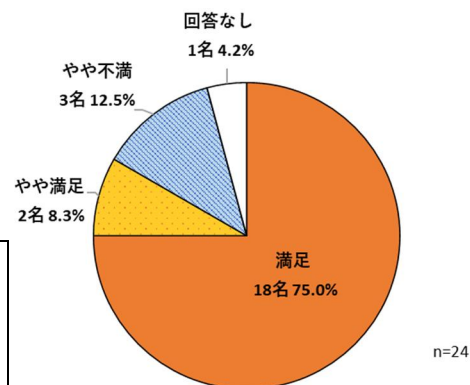
発行者：東海市総務部市民協働課



第4回のアンケート結果(抜粋)

1 全体の満足度

- 満足が 75.0%、やや満足が 8.3%、ほとんどの参加者が満足と回答しています。



1-1 その理由

- 色々な立場の人からの話を聞いて、立場による視点の違いに気付けた。
- 新たな人脈を持つことができた。
- 一つひとつのテーマについてしっかり考えることができた。
- 地域との関わりについて、改めて考えるきっかけになった。

2 特に学んだことや印象に残ったこと

<共通の意思>

- 多くのグループでお酒を飲みながら交流したいという意見が出たことが印象的だった。
- 各々の立場で各々の意見を持っている事、またその意見を活かしていきたいと考えている方が多いと強く感じた。

<つながり、コーディネート機能>

- コーディネーターの役割がとても重要だということがわかった。
- 出会いたい、連携したいと思っている団体はまだたくさんいるということ。

<協働に向き合う姿勢>

- 私も人と人とを繋げられるように、日々意識しながら行動していきたいと思った。
- 発信したい人(市民活動団体)がいてもニーズや周知で滞っているので、市民のみんなへどう伝えたらいいのか、つなぎ役に頼るばかりでなく自分から動かなければと思った。

3 「団体間のマッチング・コーディネート機能」について、伝えきれなかったこと

- 公民館や市民館で活動することが多いと思うので、公民館主事等をコーディネーターにしたりして地域の輪を広めるというより、公民館を頼れるといいなと思う。
- コーディネーターになる人の人柄・知識に頼った仕組みでは継続が難しいので、人が変わっても運用できる仕組みの検討が必要だと思う。
- コーディネーターという肩書きがなくても、各団体のキーマンがコーディネート役として活躍しているということ。
- IT の時代だからこそ「アナログ」も大事！